

行雲流水

No. 6 5 令和3年6月28日発行

成功の力ギは、「やり抜く力」

校長 寒河江 正人

元メジャーリーガーのイチローは、「**やり抜く力**」の天才だ。

こうやろうと自分が決めたことは、必ず「やり抜く」。

「**ルーティンワーク**」「**習慣**」「**継続**」「**努力**」の天才なのだ。

やったり、やらなかったりというような「波」を決して作らない。

生徒諸君は、「**GRIT (グリット)**」という言葉聞いたことあるかな？

一昨年からアメリカで最も注目されている「**成功のためのキーワード**」だ。

「**G**」は、Guts (度胸・情熱)

「**R**」は、Resilience (復元力)

「**I**」は、Initiative (自発性)

「**T**」は、Tenacity (執念・粘り強さ)

これら**4つの要素**からなる「**やり抜く力**」を意味する。

ペンシルベニア大学のアンジェラ・リー・ダックワース教授は、こう説いている。

大きな成果を出した人の多くは、必ずしも才能に恵まれていたわけではない。

どんな分野であれ、人間が成功して偉業を達成するには、「才能」よりも「やり抜く力」が重要である。

もともと「**才能**」があって努力すれば、他人よりも早く**スキル (技術)**が身につく。

しかし、そこで終わってしまえば、その先の「**達成**」はない。

身についたスキルを、さらに「**努力**」を「**継続**」してこそ、初めて「**目標**」は達成される。

成功には、「才能」の優劣よりも、「努力」の「**継続**」。

つまり、「やり抜く力」が決定的な影響を及ぼすのだ。

この「**やり抜く力**」は、「**G・R・I・T**」という**4つの要素**で構成されている。

自分にとって、最も重要と定めた「**目標**」に対して、不変の興味を抱きながら、粘り強く取り組む「**情熱**」や、困難や挫折に負けずに「**努力**」を「**継続**」する「**粘り強さ**」などの「**GRIT (グリット)**」を身につければ、誰もが「**目標**」を成し遂げられるのである。

愚直なまでに、粘り強く「継続」することこそが、まさしく「力」なり！

「天才」とは、自分の存在を懸け、「たゆまぬ努力」により、「卓越性」を極めることだ！